

堺屋太一先生の 「中国は期待か脅威か」 に対するコメント

経済産業研究所

関 志雄

2002年11月18日

「中国経済新論」サイトも併せてご覧下さい。

<http://www.rieti.go.jp/users/china-tr/jp/index.htm>

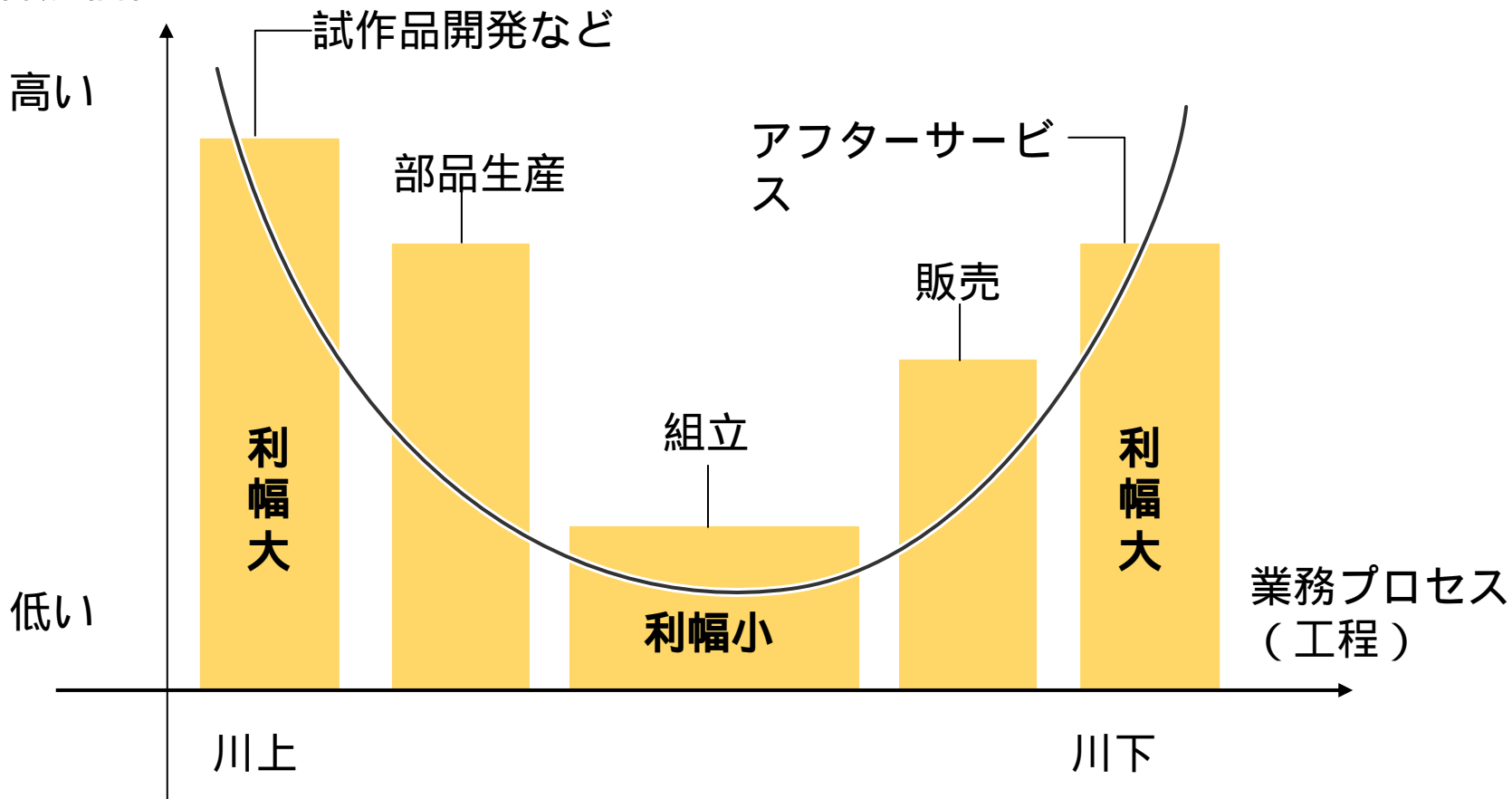
各国の工業付加価値額（1999年）

順位	国名	金額 (10億ドル)
1	米国	1,392.5
2	日本	970.0
3	ドイツ	439.8
4	中国	333.4
5	フランス	242.1
6	イギリス	239.0
7	イタリア	225.3
8	韓国	124.8
9	スペイン	105.0
10	カナダ	104.2

(出所) 世界銀行、World Development Indicators, 2002.

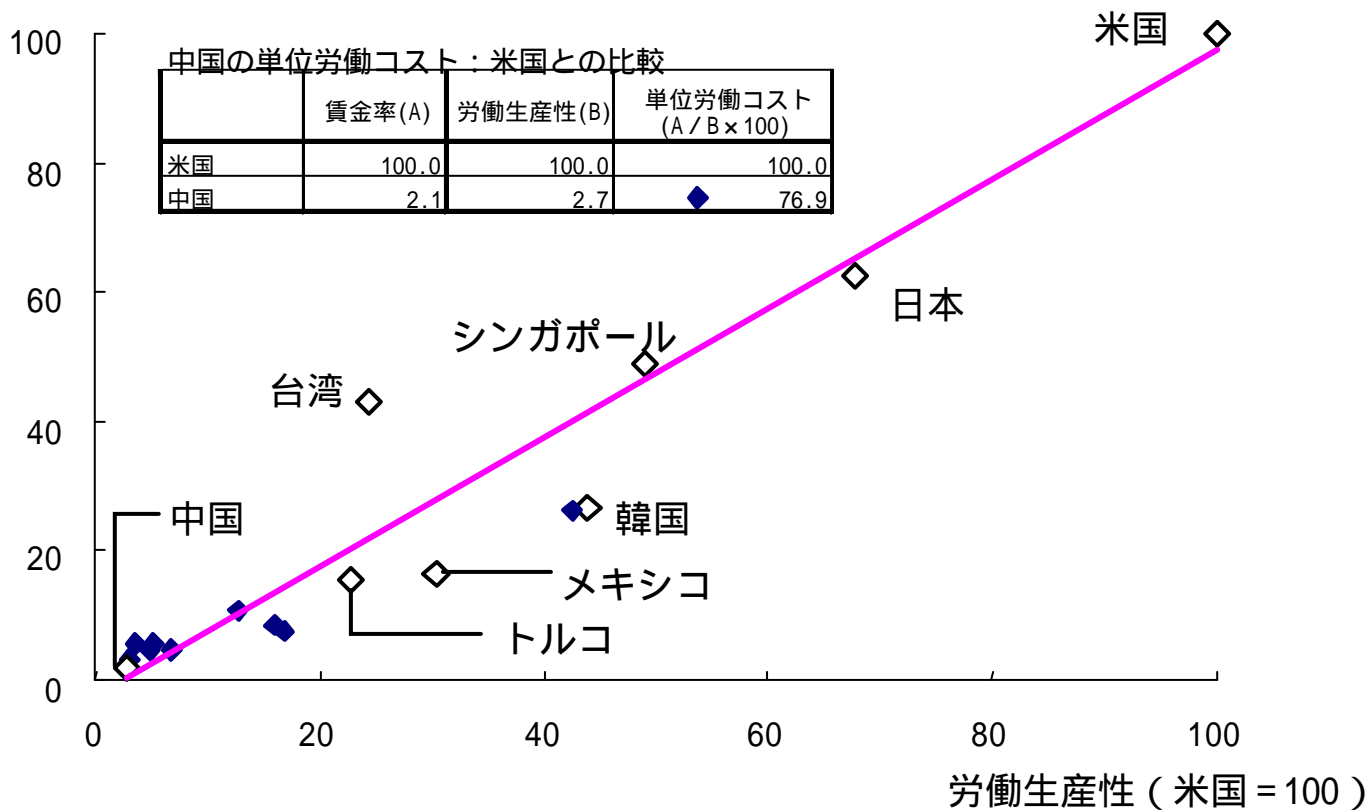
スマイル・カーブ

付加価値



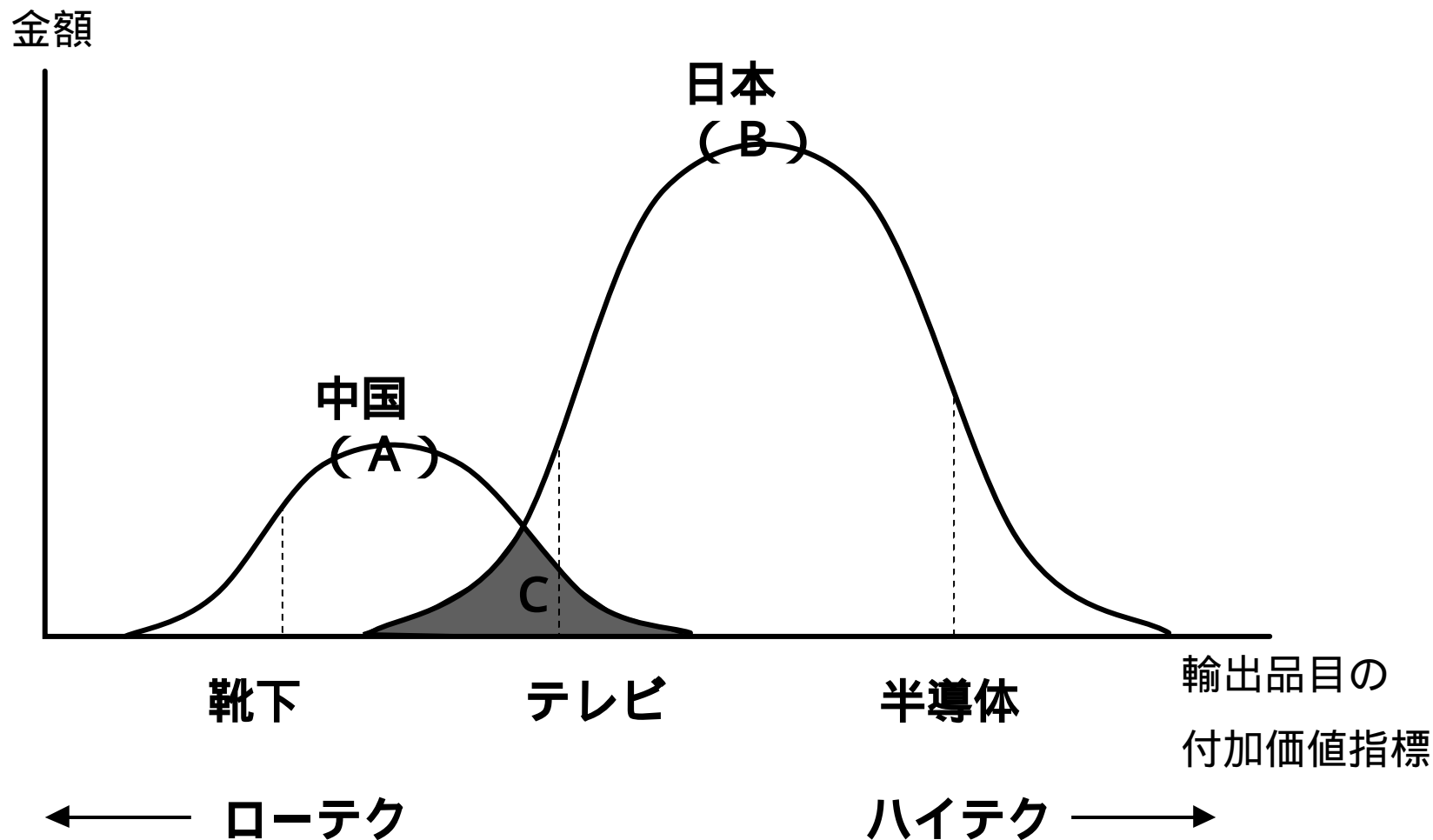
労働生産性に比例する各国の賃金率

賃金率 (米国 = 100)



(出所) 国連貿易開発会議、Trade and Development Report, 2002より作成

日中間の競合・補完関係



中国の台頭と交易条件の変化

- 改革開放によって中国が比較優位に沿って世界経済に組み込まれつつある
- 交易条件 = 輸出価格 / 輸入価格
- 中国の交易条件 = 労働集約財価格 / 技術・資本集約財価格
- 輸出主導型成長によって、中国の交易条件が中長期的にわたって悪化（豊作貧乏）
- 中国と競合関係にあるASEANの交易条件も悪化
- 中国と補完関係にある日本とNIEsの交易条件は改善

「社会主義の初級段階」それとも 「原始資本主義」

- 社会主義初級段階論
「中国の社会主義は半植民地半封建社会から生まれたもので、生産力のレベルは先進資本主義国よりもずっと遅れている。したがって、中国は超長期にわたる初級段階を経て、他の多くの国が資本主義の条件の下で成し遂げた工業化と生産の商品化、社会化、現代化を実現しなければならない。」
- 原始資本主義
資本主義の成立に必要な資本・賃金労働の関係を創り出す過程
所得の両極分化により、労働者階級と資本家階級が創出される過程
でもある
- 成熟した資本主義
人治より法治、独裁政治より民主政治、さらには、私有財産の保護はもとより、弱者を救済するための社会保障といった制度の整備を前提としている

21世紀の中国を巡る三大ニュース

- 一党独裁政権の終焉
- 中台統一
- 中国のGDPが米国を抜く

一党独裁体制の終焉

- 経済基礎と上部構造の矛盾
- もはや社会主義ではない
 - 計画経済から市場経済へ
 - 人民公社から家族経営へ
 - 国营企業から、国有企業を経て、民営企業へ
- 政治体制のソフト・ランディングを目指す動き
 - 三つの代表論 無産階級の代表から全民代表へ
 - 和平演変の最終段階
- 参考になる台湾と韓国の経験

中台統一

- 中台経済の一体化
- 前提となる二つの収斂
 - 経済面の収斂
 - 政治制度の収斂

中国のGDPが米国を抜く

- 現在のGDP規模は米国の約10%
- 高度成長期が2020年まで持続
- 一人っ子政策のツケ
 - 労働人口の減少
 - 貯蓄率の低下
- 人民元が下落トレンドから上昇トレンドへ
 - 産業の高度化
 - 完全雇用の達成
- 20年以内に、GDP規模が日本を抜く
 - 一人当たりGDPは日本の10分の1